

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2016年45週 (11月2週 11/7~11/13)

2016年10月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

インフルエンザ、RSウイルス感染症、流行性耳下腺炎、感染性胃腸炎、腸管出血性大腸菌感染症、世界エイズデー、感染症法に基づく届出の基準等の一部改正

### 定点医療機関コメント

マイコプラズマ感染症、インフルエンザ、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、手足口病、流行性耳下腺炎等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(28)、細菌性赤痢(1)、腸管出血性大腸菌感染症(5)、A型肝炎(1)、レジオネラ症(2)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、急性脳炎(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(6)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(4)、破傷風(1)

2016年10月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### インフルエンザ

45週の定点当たり報告数は0.81、44週57人 45週158人です。2016/2017シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)インフルエンザウイルスが検出されています。

#### 【参考ページ】

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

### RSウイルス感染症

45週の定点当たり報告数は1.35、44週267人 45週245人(うち0歳91人、1歳73人)で、2歳未満の報告数が全体の66.9%を占めています。

#### 【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

### 流行性耳下腺炎

45週の定点当たり報告数は0.58、44週108人 45週106人(0.98倍)です。

### 感染性胃腸炎(図)

45週の定点当たり報告数は7.10、44週804人 45週1,292人(1.61倍)です。

#### 【参考ページ】疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

### 腸管出血性大腸菌感染症(表)(P.7,10月報参照)

愛知県の2016年報告数(診断週別)は、11月16日現在149件(O157 103件、O26 26件、O111 8件、O103 4件、O121 1件、O63 1件、型不明6件)、うち溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例は9件です。2015年の同時期(1~45週)報告数は92件、年間報告総数は98件(うちHUS発症例2件)でした。

#### 【参考ページ】豊田市:腸管出血性大腸菌O111感染症の発生について(第2報)(11月9日発表)

<http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1016472/1016589.html>

腸管出血性大腸菌 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2\\_4](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html#2_4)

12月1日は「世界エイズデー」です。(P.7,10月報参照)

愛知県では、「世界エイズデー」を含む11月28日(月)から12月4日(日)までの1週間を「愛知県エイズ予防強化週間」として、「エイズキャンペーン2016」及び「夜間・休日の無料・匿名エイズ即日検査会」を実施します。

愛知県の後天性免疫不全症候群の報告数は、2016年は11月16日現在89件で、うちAIDSは31件(34.8%)です。

#### 【参考ページ】平成28年度愛知県エイズ予防強化週間について(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000087467.html>

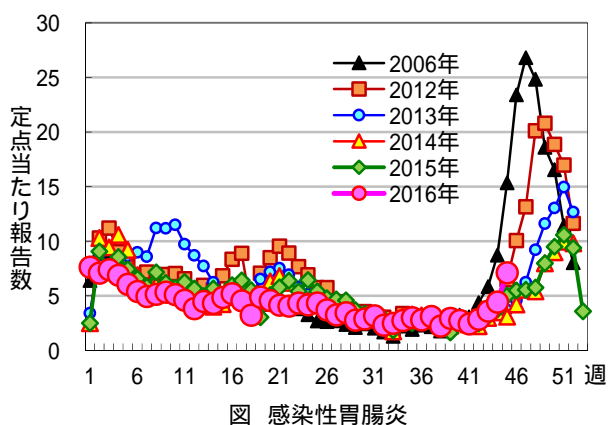


図 感染性胃腸炎

表 腸管出血性大腸菌感染症のO血清型別報告数

(愛知県、2016年は11月16日現在)

O血清型	VT	2014年	2015年	2016年
O157		89 (5)	73	103 (5)
	再掲 VT1(+)/VT2(+)	50 (3)	38	35 (2)
	VT1(+)	13	8	11
	VT2(+)	20 (2)	24	46 (1)
	VT型不明	6	3	11 (2)
O26		19	13	26
O111		12	2	8
O103		1	1	4
O121		2		1
O63				1
O128			2	
O126			1	
O165		3	1	
O91		1		
不明		5 (1)	5 (2)	6 (4)
報告数総計		132 (6)	98 (2)	149 (9)
[うち有症者数]		[102]	[77]	[102]

( )内は溶血性尿毒症症候群(HUS)発症者再掲

次ページに届出基準改正のお知らせ

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項及び第 14 条第 2 項に基づく届出の基準等の一部改正について

平成 28 年 11 月 21 日から南米出血熱はじめ 24 疾病の届出基準等が変更されます。詳細は下表及び参考ページをご覧ください。

類型	疾病	届け出る基準の変更	発生届の変更	変更内容 (届け出る基準・発生届)
一類	南米出血熱			届出基準の変更・病型の追加
	ベスト			検査材料の変更・診断方法の変更
二類	急性灰白髄炎			届出基準の変更
四類	黄熱			ワクチン接種歴の追加
	オムスク出血熱			検査材料の変更
	回帰熱			症状の追加
	キャサヌル森林病			検査材料の変更
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	デング熱			臨床的特徴及び検査材料の変更・診断方法の変更
	東部ウマ脳炎			検査材料の変更
	日本脳炎			診断方法の変更
	ブルセラ症			臨床的特徴の変更・症状の追加
	ベネズエラウマ脳炎			検査材料の変更
	発しんチフス			症状の追加
	ボツリヌス症			臨床的特徴の変更
	リフトバレー熱			診断方法の変更
レジオネラ症			検査方法の追加・診断方法の追加	
五類	クリプトスポリジウム症			検査材料の追加・診断方法の変更
	ジアルジア症			
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			定義の変更及び検査材料の追加・診断方法の変更
	侵襲性髄膜炎菌感染症			定義の変更及び検査材料の追加・診断方法の変更及びワクチン接種歴の追加
	侵襲性肺炎球菌感染症			定義の変更及び検査材料の追加・診断方法の変更
	播種性クリプトコックス症			定義及び検査材料の変更・診断方法の変更

【参考ページ】平成 28 年 11 月 7 日付け健感発 1107 第 1 号(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000142154.pdf>

改正後の届出基準・届出様式等(11月21日更新予定) <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

インフルエンザ 6 例すべて A 型

稲沢市の保育園で小流行あり。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

先週、12 歳男、感染性胃腸炎(カンピロバクター陽性)

【一宮市 後藤小児科医院】

インフルエンザ A 型 3 名

【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】

インフルエンザ A 型 2 名

【稲沢市 野村小児科】

インフルエンザは A 型 1 名のみ。

【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

RS ウイルスが目立ちます。

マイコプラズマは減少してきました。

手足口病が 3 名とロタ胃腸炎が 1 名ありました。

【犬山市 武内医院】

感染性胃腸炎やや目立ちます。

マイコプラズマ感染症の流行続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ムンプス散発

RSV 感染散発

インフルはまだ発生なし。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

15 歳女 47 歳男 10 歳女 マイコプラズマ肺炎

46 歳女 マイコプラズマ感染症

53 歳男 病原大腸菌 O25 検出

27 歳女 病原大腸菌 O125 検出

23 歳女 カンピロバクター検出

1 歳女 溶連菌

【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

手足口病まだ見られています。

RS ウイルス感染症目立ちますが、重症例なし。

マイコプラズマ感染症流行持続

その他突発疹等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザは A 型 2 名

マイコプラズマ、おたふくが流行しています。

【日進市 みやがわクリニック】

インフルエンザ A 型 1 例

インフルエンザ B 型 0 例

【長久手市 医療法人水野内科】

マイコプラズマ 15 歳男

【東郷町 ごとうこどもクリニック】

RSV は多いですが、ピークはこえたかもしれません。

【春日井市 春日井市民病院】

胃腸炎が目立ちます。

RS ウイルスも少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

RS ウイルスとマイコプラズマが目立ちます。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザ A 型、11 歳女、1 名あり。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

A 型インフルエンザ 1 名

マイコプラズマ肺炎 1 名

感染性胃腸炎散発

手足口病 2 名あり。

【南知多町 医療法人大岩医院】

A 型インフルエンザ 1 名

【武豊町 なかしまキッズクリニック】

6 歳男 カンピロバクター(+)

4 歳女 アデノウイルス

10 歳男 マイコプラズマ

感染性胃腸炎流行中

手足口病、ヘルパンギーナが出ています。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

ノロウイルス胃腸炎 2 名(2 歳、4 歳)

手足口病が目立ちます。(夏より発疹がひどい症例が目立ちます。)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

咽培 GAS(+) 5歳女  
マイコプラズマ肺炎 6歳女 8歳女 2名  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
嘔吐と下痢が多い。  
手足口病が散発  
RS ウイルスも目立ちます。  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
マイコプラズマ肺炎  
9歳女 4歳男 5歳男 4歳女 11歳男 6歳男  
インフルエンザA型 1名  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
マイコプラズマ、RSV、感染性胃腸炎見られます。  
手足口病も時々います。  
【碧南市 永井小児クリニック】

ムンプス 3名  
RS 2名  
マイコプラズマ 2名  
【知立市 宮谷クリニック】  
インフルエンザA型 2名  
インフルエンザB型 1名  
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】  
インフルエンザA型 1名  
【西尾市 西尾市民病院】

東三河地区

感染性胃腸炎が流行中です。  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
インフルエンザA型 1名  
【豊橋市 おだかの医院】  
インフルエンザA型 1名 38歳女  
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】  
咽頭結膜熱 35歳女  
【豊橋市 富安眼科】

病原性大腸菌O1 7歳男  
マイコプラズマ感染症 6歳男 4歳男  
【豊川市 ささき小児科】  
マイコプラズマ 2名  
アデノウイルス 1名(9か月)  
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2016年11月16日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun160215.pdf>

新届出基準(11/21～) <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2016年45週報告数			2016年総計(1～45週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	12	2	2	578	146	136
豊田市				59	16	15
豊橋市	1		1	67	13	30
岡崎市	3	1		49	19	11
一宮	2		1	121	41	27
瀬戸	1			103	18	33
半田				54	16	22
春日井	1	1		93	16	27
豊川	1	1		46	12	9
津島	2		1	94	13	36
西尾				21	5	4
江南	1			42	7	6
新城	1		1	10	5	4
知多				71	20	19
清須	1			31	15	4
衣浦東部	2	1		98	17	17
合計	28	6	6	1,537	379	400

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	名古屋市	39歳	女	11/5	11/6	11/10	パキスタン

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	61歳	女	11/2	11/7	11/10	O157、VT2(+)
2	岡崎市	30歳	女	-/-	11/7	11/11	O157、VT2(+)
3	瀬戸	14歳	女	-/-	11/4	11/7	O26、VT1(+) 無症状病原体保有者
4	瀬戸	4歳	女	-/-	11/4	11/7	O26、VT1(+) 無症状病原体保有者
5	津島	53歳	女	-/-	11/2	11/5	O26、VT1(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

A型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	瀬戸	85歳	女	不明	国内

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	51歳	男	肺炎型	国内
2	知多	62歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	春日井	42歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	81歳	男	手術部位感染	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊川	1歳	男	アデノウイルス2型	国内

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	89歳	女	無	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	1歳	女	有	国内
2	豊田市	78歳	男	無	国内
3	豊川	85歳	女	不明	国内
4	江南	54歳	男	不明	国内
5	知多	79歳	男	不明	国内
6	衣浦東部	78歳	女	無	国内

水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	1歳	男	有	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	20歳	女	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	30歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	津島	37歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	江南	22歳	女	早期顕症	性的接触	国内

破傷風（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	63歳	男	不明	国内

## 10月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔( )は無症状病原体保有者再掲〕

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数	2016年10月			2016年	2015年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	64 (20)	40 (8)	104 (28)	1,484 (391)	1,683 (463)
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	7 (1)	6 (1)
腸管出血性大腸菌感染症	10 (3)	0 (0)	10 (3)	134 (37)	98 (21)
腸チフス	5 (2)	0 (0)	5 (2)	12 (2)	2 (0)
四類 (44) E型肝炎	0	0	0	4	8
A型肝炎	0	0	0	4	10
オウム病	0	0	0	1	0
コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
ジカウイルス感染症*	0	0	0	2	-
チクングニア熱	0	0	0	3	0
つつが虫病	0	0	0	0	2
デング熱	0	1	1	19	17
日本紅斑熱	0	0	0	1	0
マラリア	0	0	0	1	1
ライム病	0	0	0	0	1
レジオネラ症	9	6	15	78	99
五類 (22) アメーバ赤痢	2	0	2	55	66
ウイルス性肝炎	0	1	1	5	15
内訳					
B型	0	1	1	4	10
その他	0	0	0	1	5
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	4	1	5	59	80
急性脳炎	0	0	0	36	27
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	11	8
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	0	2	22	16
後天性免疫不全症候群	1	9	10	89	107
内訳					
無症候性キャリア	0	6	6	55	60
AIDS	1	2	3	31	43
その他	0	1	1	3	4
ジアルジア症	0	0	0	1	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	2	20	15
侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	1	6	0
侵襲性肺炎球菌感染症	8	5	13	120	161
水痘(入院例に限る。)	0	0	0	9	17
梅毒	11	8	19	215	122
内訳					
無症候	2	2	4	55	43
早期顕症	8	6	14	152	71
晩期顕症	1	0	1	8	7
先天梅毒	0	0	0	0	1
播種性クリプトコックス症	0	2	2	11	10
破傷風	0	0	0	4	8
風しん	0	0	0	20	13
麻しん	3	0	3	5	0
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	2	0
総 計	123	74	197	2,441	2,598

\* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。



五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2016年10月			2016年累計		2015年総計			
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体			
				合計	合計	合計	合計		
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	男	35	58	93	767	1,313	855	1,501
		女	40	19	59	546		646	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	11	9	20	200	533	224	601
		女	10	21	31	333		377	
	尖圭コンジローマ	男	6	14	20	170	259	217	328
		女	8	0	8	89		111	
淋菌感染症	男	22	32	54	404	464	489	565	
	女	1	0	1	60		76		
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		62	20	82	787		1,006	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		5	2	7	83		92	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0		1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年4月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

\* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

\*\* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。





